

[資料1]

三田市立学校再編計画 【第1次計画】

(案)

平成30年12月

三田市教育委員会

目 次

I	計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	1 計画の趣旨	
	2 計画の目的	
II	学校再編をするにあたって・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	1 望ましい学校規模とその主な理由	
	2 学校再編を実施する際の留意事項	
III	学校再編の対象校について・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	1 中学校の再編	
	2 今後の小中学校の再編	
IV	地域との協議について・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	1 今後のスケジュール	

資料編

1	中学校再編に関する生徒数、学級数推計・・・・・・・・	7
---	----------------------------	---

I 計画策定にあたって

1 計画の趣旨

この計画は、平成30年7月に策定した「三田市立学校のあり方に関する基本方針」（以下「基本方針」と表記します。）に基づき、「望ましい教育環境」を実現するための具体的な方策等を示したものです。

2 計画の目的

本市においては、学習指導要領及び三田市教育振興基本計画の理念に基づき、児童生徒にとって望ましい集団規模を確保し、教育環境の充実を図ることにより、次に掲げる教育をさらに推進します。

- (1) 自らが直面する様々な課題に対し、柔軟かつたくましく対応できる人物の育成をめざします。
- (2) 変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、社会の中にある様々な情報や出来事を受け止め、主体的に判断する力を養います。
- (3) 一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重する態度を養います。
- (4) 子ども同士が「学び合い、高め合える」環境を保障することで、多様で心豊かな出会いの場を提供し、社会性を培います。
- (5) 「主体的・対話的で深い学び」を視点に、創意工夫しながら特色ある教育活動を展開します。
- (6) 学校行事や部活動等を活性化させることにより、子どもたちの活動意欲を高めます。
- (7) 中学校において、ある程度の教職員数を確保することで免許外教科指導を解消し、より専門性の高い学習指導を推進します。

II 学校再編をするにあたって

1 望ましい学校規模とその主な理由

本市における学校の望ましい規模については、平成30年3月に三田市立学校園のあり方審議会から示された「三田市立小中学校のあり方について（答申）」（以下「答申」と表記します。）及び「基本方針」で示す考え方によるものです。以下の学校規模を確保することを基本として再編を行います。

(1) 小学校の望ましい学校規模とその主な理由

学校規模	主な理由
12～18学級（各学年2～3学級）	①すべての学年でクラス替えができます。 ②各学年に複数の担任がいることで、性別・経験年数等バランスのとれた学年編成ができます。 ③運動会・音楽会等の学校行事の活性化が図れます。 ④ある程度の教員数を確保できることから、学校運営が余裕を持って行えます。

(2) 中学校の望ましい学校規模とその主な理由

学校規模	主な理由
9～18学級 (各学年3～6学級)	①免許外指導の課題が一定程度解消されます。 ②部活動において、ある程度の部活数・部員数・顧問数が確保できます。 ③体育大会・文化祭等の学校行事の活性化が図れます。 ④ある程度の教員数を確保できることから、学校運営が余裕を持って行えます。

2 学校再編を実施する際の留意事項

「1 望ましい学校規模とその主な理由」と同様、「答申」及び「基本方針」に示されている考え方を基本として、以下の事項に留意して再編を進めていきます。

(1) 協議の手順

- ①免許外指導や部活動等、課題が大きく早急な対応が必要なことから、まず中学校について協議します。
- ②小学校については、中学校の協議の状況及び将来的な児童数の推移を勘案しながら、できるだけ早い時期に協議を開始します。

(2) 通学負担に関すること

- ①学校再編後の通学時間については「概ね1時間を超えない」よう配慮します。特に、小学校においては、できるだけ時間短縮を図ります。
- ②通学手段を確保するために、必要に応じて路線バスの活用やスクールバスの導入を検討します。

(3) 学校再編に伴う教育環境の充実に関すること

- ①学校再編により1学校の児童生徒数が増加することが予想されることから、必要に応じて、人的配置の充実や校舎等の新增改築、施設設備の改修等を行うなど、更なる教育環境の充実に努めます。

(4) 学校と地域との関係に関すること

- ①学校が地域づくりの核となっていることを踏まえ、今後も、学校と地域とが協働して学校運営・地域づくりを行えるようなシステムとして三田型コミュニティ・スクールを推進します。
- ②学校区と行政区については、可能な限り整合性を図るよう努めます。

(5) 学校跡地の有効活用に関すること

- ①学校跡地及び施設の有効活用については、地域と協議した上で市として総合的に検討します。

Ⅲ 学校再編の対象校について

1 中学校の再編

今回、第1次計画として、生徒数の減少が著しく、特に課題が大きい中学校について、以下のとおりお示しします。

なお、再編の時期については、対象地域での意向確認後、概ね3～5年以内を目途とします。

(1) 上野台中学校と八景中学校の統合を進めます

生徒数、学級数の推移予測	再編の考え方
<p>①上野台中学校の状況</p> <p>今後の生徒数、学級数の推計では、上野台中学校の平成35年度の生徒数は100人で、すべての学年が単学級（1学年1学級）となり、それ以降もゆるやかな減少が続くと予測されます。</p> <p>②八景中学校の状況</p> <p>八景中学校は、今後も多少の増減はあるものの適正規模を維持すると予測されます。</p> <p>③両校を統合した場合</p> <p>この両校を統合した場合、一時的に適正規模をやや上回る19～20学級程度になると見込まれますが、その後は、適正規模（18学級以下）になると予測されます。</p>	<p>地理的な状況</p> <p>上野台中学校は、八景、上野台中学校区の比較的中央部に近い場所に位置しますが、敷地、校舎規模が小さく700人規模の生徒の受け入れは困難です。</p> <p>八景中学校は、本市の最南端に位置し、国道から学校までの進入路も狭い急坂であり、地理的、地形的な課題を抱えています。</p> <p>歴史的な状況</p> <p>昭和50年に旧八景中学校区の一部〔志手原小学校区、小野小学校区、三輪小学校区の一部（大原）〕が分離し、旧羽束中学校区と合併して、現在の上野台中学校が開校しました。</p> <p>開校の経過から、上野台中学校区と八景中学校区の関係は深いと考えられます。</p> <p>再編案</p> <p>「上野台中学校と八景中学校の統合」を進めることとし、上記の地理的、歴史的な状況に加え、八景中学校の生徒数が多数（9割近く）を占めることから、<u>場所は「現在の八景中学校区内」で検討します。</u></p>

生徒数、学級数推計（資料編P7中 - 1参照）

単位：人、【 】内は学級数

	H30 (2018)	H34 (2022)	H38 (2026)	H42 (2030)	過去最大規模
上野台中学校	130【5】	113【4】	112【4】	79【3】	367【11】
八景中学校	505【14】	615【16】	605【17】	622【18】	852【21】
統合中学校	630【17】	728【20】	717【19】	701【19】	*

(2) 長坂中学校と藍中学校の統合を進めます。

生徒数、学級数の推移予測	再編の考え方
<p>①現在の両校の状況</p> <p>平成30年度現在、長坂中学校は5学級125人、藍中学校は6学級159人が在籍しています。</p> <p>いずれの中学校も、適正規模を下回り、今後もさらに生徒数の減少が続くと予測され、藍中学校においても平成36年度には単学級の学年が生じると見込まれます。</p> <p>②両校を統合した場合</p> <p>この両校を統合した場合、平成34年度までは適正規模校（9学級）が確保できますが、それ以降は、適正規模を再び下回り、平成42年度には6学級になると見込まれます。</p> <p>しかし、これ以上の広範囲の再編は、校区が非常に大きくなり、生徒の通学負担の増大が予想されること、相野駅、広野駅周辺のまちづくりが現在計画、検討されていることなどを考慮し、この2校の統合を進めることとします。</p>	<p>地理的な状況</p> <p>藍中学校は、藍、長坂中学校区の中央部よりかなり西側に位置しています。</p> <p>一方、長坂中学校は、両校区の比較的中央部に近い場所に位置し、国道に面していることなどから、交通の利便性も比較的良いと考えられます。</p> <p>歴史的な状況</p> <p>藍中学校は、つつじが丘地区の人口増に伴い、平成3年に長坂中学校から分離して開校しました。</p> <p>開校の経過から、長坂中学校区と藍中学校区の関係は深いと考えられます。</p> <p>再編案</p> <p>「長坂中学校と藍中学校の統合」を進めることとし、上記の地理的、歴史的な状況に加え、平成38年度以降、長坂中学校の生徒数が増えることと予測されることから、<u>「現在の長坂中学校」を統合場所として検討を進めま</u> <u>す。</u></p>

生徒数、学級数推計（資料編P7中 - 2参照）

単位：人、【 】内は学級数

	H30 (2018)	H34 (2022)	H38 (2026)	H42 (2030)	過去最大規模
長坂中学校	125【5】	124【5】	128【5】	107【4】	543【14】
藍中学校	159【6】	161【6】	119【4】	89【3】	817【22】
統合中学校	284【9】	285【9】	247【8】	196【6】	*

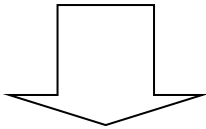
2 今後の小中学校の再編

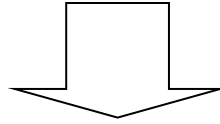
基本方針のとおり、課題の大きい中学校の再編からまず協議する予定としていますが、早期に再編を希望する小学校（地域）がある場合には、小学校の再編についても併せて協議を行います。

また、将来的な児童生徒数の推移も勘案しながら、再編が必要と考えられる小中学校については、適切な時期にお示しし、協議を開始することとします。

IV 地域との協議について

1 今後のスケジュール

時 期	内 容
平成30年 12月	<p>「三田市立学校再編計画〔第1次計画〕(案)」(以下「再編計画(案)」と表記します。)を公表します</p>
平成31年 2月～	<p>再編計画(案)についての説明会を実施します</p> <p>①対象となる各中学校区で実施します。</p> <p>A. 上野台中学校・八景中学校 B. 長坂中学校・藍中学校</p> <p>②再編計画(案)及び今後の協議の進め方等について詳しく説明します。</p> <p>③「(仮称)三田市立学校再編地域協議会」(以下「地域協議会」と表記します。)の委員について各団体に選出を依頼します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
平成31年 4月以降～	<p>統合する2つの中学校区で「地域協議会」を設置します</p> <p>A：上野台中学校・八景中学校地域協議会 B：長坂中学校・藍中学校地域協議会</p> <p>①各中学校長及び地域の主要団体から推薦された委員等で構成します。</p> <p>②「地域協議会」の期間は原則2年を限度とし、その間に学校再編の是非等を協議していただきます。必要に応じて、調査部会等を組織し、広く意見を集約することに努めます。主な協議項目としては、下記事項等が想定されます。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学校再編の是非や時期に関する意見、通学手段等再編に関する課題のとりまとめ、その他再編に関する事項 等</p> </div> <p>③再編計画(案)について、地域協議会で意見等を取りまとめていただきます。</p>



平成32
年度以降～

学校再編に向けて「(仮称)三田市立学校再編準備会」(以下「再編準備会」と表記します。)を設置し、具体的な事項について協議していきます。

- ①学校再編の円滑な実施に向けて、具体的な事項について検討していきます。
- ②各中学校長及び地域の主要団体から推薦された委員等で構成します。
- ③主な検討項目としては、下記事項等が想定されます。

・再編の具体的なスケジュール ・教育環境整備、通学安全対策
・校名、校歌、校章 ・閉校式・開校式 ・交流事業 ・記念行事
・児童、保護者への周知 等

- ④検討については、実際の再編年度の前年度までとし、並行して校舎等の新增改築、施設設備の改修等を進めます。

◎今後の小学校の再編については、早期に再編を希望する地域がある場合は、中学校と併せて協議を行います。また、児童生徒数の推移なども勘案しながら、再編が必要と考えられる小中学校について適切な時期に協議をしていきます。

資料1 中学校再編に関する生徒数、学級数推計

中－1 上野台中学校と八景中学校の統合

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
上野台中学校	生徒数	130	129	140	130	113	100	103	108	112	108	102	91	79	83	83	90
	学級数	5	5	6	5	4	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3
八景中学校	生徒数	505	510	570	593	615	564	582	591	605	629	633	645	622	616	605	603
	学級数	14	14	15	16	16	15	16	17	17	17	17	18	18	18	18	17
上野台・八景統合 (統合中学校)	生徒数	630	633	697	723	728	664	685	699	717	737	735	736	701	699	688	693
	学級数	17	17	19	20	20	18	18	18	19	20	20	20	19	19	18	18

中－2 藍中学校と長坂中学校の統合

		30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度	38年度	39年度	40年度	41年度	42年度	43年度	44年度	45年度
		2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033
長坂中学校	生徒数	125	124	120	127	124	117	120	118	128	127	123	106	107	107	115	107
	学級数	5	5	5	5	5	4	5	4	5	5	5	4	4	4	4	3
藍中学校	生徒数	159	171	169	170	161	147	136	126	119	129	120	120	89	83	78	90
	学級数	6	6	6	6	6	6	5	5	4	5	4	4	3	3	3	3
長坂・藍統合 (長坂中学校)	生徒数	284	295	289	297	285	264	256	244	247	256	243	226	196	190	193	197
	学級数	9	9	9	9	9	8	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6